



最優秀賞受賞にあたって

岡山大学教育学部附属中学校 こやましんじ 小山真二

この度は栄えある東書教育賞において、最優秀賞に選んでいただき、大変ありがたく思うと同時に、身の引き締まる思いです。昨年末、東京書籍株式会社中国支社の長谷川淳さんから思いがけず最優秀賞受賞の電話連絡をいただいた時は、にわかには信じられず何度も聞き返してしまいました。

今回の論文は、元々、平成22年度に本校の技術・家庭科の授業で実施した「ストロー橋製作実習」を、今年度の担当教員に引き継ぐために8月から9月にかけて授業マニュアルとして作成したものです。ちょうど授業マニュアルが書き上がる頃に、東京書籍の長谷川さんから東書教育賞を紹介していただき、今回の応募に至りました。

元々が授業マニュアルでしたので、図2の「学習の流れ」の項目にしたがって、授業の流れや気づき、課題などを一気にまとめています。

授業マニュアルでは、授業実践の概要を振り返られるように巻末に掲載していた「単元の最終授業の逐語記録」を、今回の論文では「8学習のまとめ」として整理し直しました。

「実践の成果と今後の課題」においては、授業マニュアルでは掲載していなかった生徒の感想を改めて読み直して付記しました。

論文内の図の多くは授業内で使用したスライドやワークシート、掲示資料をそのまま転載したものです。

研究論文というと堅苦しいイメージがありま

したが、今回のストロー橋製作実習の実践記録をまとめる作業は、自分自身にとっては創造的で楽しい時間でした。論文としての項目立てとは大きく異なり、また、私自身の思いが先走って分かりづらい表現も多々あったと思いますが、審査員の皆様には、授業者の思いをくみ取っていただけたのだと大変感謝しております。

授業実践を行っている最中は、目先の授業や生徒との対応で手一杯でしたが、東書教育賞への応募論文をまとめる過程で、授業の成果や課題について整理し直すことができ、大変有意義であったと思います。今後の授業実践や教育研究を行う上で、大きな糧となってくれると思います。このような機会を与えてくださった東京書籍株式会社の方々、並びに中央教育研究所の皆様には大変感謝しております。

また、岡山の一中学校教員の要望を受け入れて、新入社員研修を公開してくださった富士ゼロックス株式会社の鈴木洋司さんには、問題解決力の育成に関する様々な示唆をいただき、教科指導のみならず教育活動全般について考え直す大きなきっかけを与えていただきました。心よりお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。